有限会社 アラカワ紙業

設計力で段ボールの可能性を広げる

納期相談
企画力自信有
試作可小ロット
量産対応

展示会でデザイン力と機能性をアピール

業務内容

スピード生産と独自設計が武器

段ボール箱の企画・製造・販売を行う専業メーカー。小口注文も受け付け、最も汎用型のA式ケースは最短半日で納入できるスピード生産を武器にする。このような汎用タイプの段ボール箱製造が売り上げの60％を占めるが、同業他社としのぎを削る中で差別化を図るため、独自設計の製品開発にも取り組んでいる。

応用力

デザイン力を磨き、一般向け販売も視野に

段ボールを活用したディスプレーなどの相談を受けるようになり、応用デザインへの対応に本格的に乗り出した。デザイン力をアピールするため、一般向け販売も視野に入れた製品を手掛ける。平成22年に小型3段ラック「Ｌｕｃｋラック」を発売した。平成24年には、衣料品通信販売会社のニーズをきっかけに、メール便対応の薄型段ボール箱「カートンフィーノ」を開発。どちらもバリエーション豊かなカラー展開で、目を引きやすくしている。

強み

デザインイメージから製作できる設計力

設計・デザインから製造、配送まで社内一貫体制で行う。受注生産の応用製品や独自製品を支えるのが辻明徳社長の設計力だ。取締役に就任した平成17年からＣＡＤを導入した。オリジナルデザインにも対応できる。設計図がなくても、顧客から完成イメージや大きさ、機能などを聞きだして展開図を作成する。手掛けるのはパッケージだけでなく、棚やディスプレー、いす、舞台の大道具など多岐にわたる。辻社長は「今後、設計・デザインの付加価値をさらにアピールし、収益につなげたい」と語る。

今後の展望

段ボールの可能性を広げ、社会貢献も

次の一手として新たに企画した応用製品が段ボールの睡眠用マット「ごろ～ん」。箱製造のための裁断時に余った段ボールを活用できないかと構想を練った。モニター調査を行った結果、夏にも通気性がよく眠りやすいと反応は上々。冬も高さがあるため床からの冷えを防げると考えている。カラー段ボールを活用し、外観も魅力を高めて販売する計画を立てている。同マットについて、辻社長は「災害時の避難生活対策製品として活用できないか」と提案を進める方針。段ボールを活用し、社会貢献にもつながる製品を生み出したいと考えている。以前は顧客企業に出向くのが大半だったが、最近は相談のための訪問を受けることも増えてきた。将来はテーブルをはじめとした社内の家具を段ボールで製作して置きかえ、自社をショールーム化する構想も練っている。

段ボール製マットレス「ごろ～ん」

COMPANY PROFILE 有限会社アラカワ紙業

大阪 26

当社の歴史

昭和44年に製造拠点の地名をとって荒川紙業として創業し、平成元年に有限会社アラカワ紙業として設立しました。平成17年にCADを導入して設計を始め、平成22年からオリジナル製品の開発も行っています。平成23年から展示会にも出展し、顧客開拓を進めています。平成24年には3次元CAD・カッティングマシンを導入し、設計の幅を広げました。

オリジナル設計でお客様の売上UPに貢献いたします。

代表取締役社長 **辻 明徳**さん

■主な事業内容
段ボールケースの製造・販売など

■主な取引先（納入先）
プラスチック成型業社・ディスプレイアッセンブリー業社・クリアケース製造業社

住　所／〒577-0047
東大阪市西堤楠町
2-2-2
ＴＥＬ／06-6728-1055
ＦＡＸ／06-6736-2753
創　業／昭和44年1月
設　立／平成元年10月
資本金／500万円
従業員／3名

http://www.arakawabox.co.jp/